



発行所 ▶ 群馬県里親の会（群馬県社会福祉協議会内）〒371-8525 群馬県前橋市新前橋町13-12 ☎027-255-6034
発行人 ▶ 上原正男 発行日 ▶ 2023年（令和5年）3月31日 Email ▶ satooya@g-shakyo.or.jp

里親活動を振り返っての「お願い」

「里親」の言葉の使われ方が気になり……

群馬県里親の会 会長
上原 正男



群馬県知事より里親として認定（1993年2月1日）を拝受し、養育里親として30年が経過しました。その間、お世話になりました関係者各位に感謝とお礼を申し上げます。

会長退任にあたり最近「里親」の言葉の使われ方が気になります。里親とは「児童福祉法第六条の四」に要件が示されています。

私たち里親は、何らかの事情で実親と離れ離れになってしまった子どもに対し、児童養護施設の集団生活ではなく、地域の家庭で育つべきであるとの思いから、私たちの各家庭に子どもを受け入れています。

親から虐待等を受けた子ども、家庭の養育環境に恵まれない等、実親と暮らせない理由は、それぞれ違います。

ただ、子どもに共通しているのは、実親との別離により、心に深い傷を負っていることです。私たち里親は、子どもの傷を治すことはできません。ただ、子どもの心に寄り添い、日々の暮らしの中で、ともに笑い、泣き、楽しみ、怒り

様々な気持ちを共有し、同じ時を過ごすことはできます。

ところが、近年は、この里親制度があまり知れていないことからペットの飼い主を「里親」、ペットを「里子」と呼び、「猫の里親募集」などとホームページに案内を掲載。さらに、公共機関では「動物の里親制度」や「公園の樹木里親」等と称して、飼い主や管理ボランティアを募集する例もあります。これを受けて、SNS・新聞やテレビなどマスコミも、動物の新しい飼い主を「里親」と呼んでいます。

実親との別離という傷を抱え、懸命に生きる子どもたちにとって、「ペット里親」などという言葉は、傷口に塩をすり込まれた気持ちになるのではないのでしょうか。

「里親」「里子」という言葉を人間以外のものに使うことを控えていただきたいと願うところです。なお、動物愛護を否定するわけではありません。

里親制度は法で、子どもの家庭養育優先原則が明記され、それを必要とする子どもたちの為の制度です。社会全体での里親制度の理解と応援をお願い致します。

群馬県里親の会ってどんな事をやっているの？私も入会して4年。分かっているようで分かっていない……ということが分かってきました。ならば、入会したばかりの方にとってみれば尚更

ざっくりと 解説

のこと。そこで、ざっくりと、その活動内容をまとめてみました。大きく3つの分野に分けて解説します。皆さんも分かりそうな活動からでかまいません。ご参加いただければ幸いです。(藤原)

01 里親の 交流と研修

おしゃべりの会

里子とどうやって関わってるの？こんな問題、あんな問題……里親同士ならではのテーマをもとに“おしゃべり”しています。また、回によっては、特別講師をお招きして学びます。2023(令和5)年度は各地区の持ち回り会場で4回開催予定です。気軽に相談し合ってみましょう。

里親サロン (地区里親会主催)

各地区の里親会(中央・東毛・西毛)ごとに月1回のペースで開催しています。身近な地域ならではの交流です。面識があることでレスパイトの依頼や具体的な協力もしやすくなります。

<豆知識:レスパイト> ひとやすみ、の意味。一時、他の里親さんに委託を依頼する仕組みです。

ふれあいプロジェクト

会員と児童養護施設との交流行事です。里親と同じ社会的養育を担う者として励ましあっています。

本紙の4pにそのレポート記事が掲載されています。

里親のための研修会

研修会は里親としてスキルアップするとても良い機会です。毎回専門家の講師を招いて深掘りしています。ぜひご参加ください。



ピアサポート事業

里親同士(ピア:同僚とか仲間の意味)の支え合い、近隣の里親同士の情報交換や相互による支援体制の構築を目指す事業です。

各種広報・情報提供

年1回発行の「会報さとおや」(本紙・3月)、年2回発行の「おしゃべり通信」(7月・1月)をはじめ、「里親だより」や「会員向けメール配信」「里親文庫」の運営を行っています。

紙ベースの広報紙ではシンプルに分かりやすく。また、webコンテンツの紹介も交えながら多様な情報を整理してお届けできるよう目指します。

親子でクラフト教室

物作りって楽しいですね。家庭では味わえない体験になります。



<現在“2つの委員会”が活動中>

①研修委員会は、上記の研修会等の準備運営にたずさわります。また、②広報委員会は「会報さとおや」「おしゃべり通信」の企画編集を行っています。両委員会は2年ごとに委員が選出されます。機会を得てご参加ください。

02

全国の里親会・ 行政との 対外活動

全国里親会への参加

公益財団法人「全国里親会」に団体会員として参加しています。全国里親会は里親制度推進のための組織で里親賠償責任保険の

取扱いをはじめ、里親や子どもたちのために国への働きかけをおこなっています。

最近では2020(令和2)年度に、特別養子縁組における養子候補者の上限年齢が、審判申し立て時6才未満が15才未満(例外あり)に引き上げられました。また、里親手当て拡充も実現できました。

その他にも全国の里親たちの交流と研修の場として、毎年里親全国大会(今年は山梨県主催)や各地区のブロック大会に参加しています。



群馬県への働きかけ

群馬県と協働するために、私たちの願いを要望書や提言書として提出しています。今までの働きかけの中で実施された項目をいくつか紹介します。

- ▲里親登録証の発行(カード型)
- ▲委託時における里親への里子の情報開示
- ▲里親への一時保護に関わる必要経費の措置
- ▲一時保護児童の委託に関する情報開示
- ▲地域連携による養育環境の構築
- ▲里親委託解除後の自立支援事業の実施
- ▲里親支援専門相談員制度の充実
- ▲真実告知とライフストーリーワークの取り組み支援の実施
- ▲里親に対して委託可能児童の情報公開

日本こども支援協会

NPO法人「日本こども支援協会」とも連携をとりながら、毎年10月4日の「里親の日」にはチラシ配布を実施しています。



03 里子と里親への 経済的支援

里親賠償責任保険

全国里親会が取り扱う「里親賠償責任保険」の群馬県内の窓口となっています。施設賠償と生産物賠償からなり、里親を対象とした保険はこの保険のみです。本会では委託里親1世帯 6,030円(+12才以上の里子1人あたり2,370円)を支払っています。いざという時の心づよ〜いみかたです。
※この保険は委託中の会員のみが加入できます。



その他の支援

- ◎各大会に参加する会員へ「参加費助成金」を交付しています。
- ◎七五三や大学進学・就労時の助成金の情報提供を行っています。
- ◎ランドセルの寄贈：セイバンから全国里親会へ。その後、必要数を会員へお渡ししています。
- ◎そのほか養育に関する相談を随時受けています。



地区里親会への助成金

地区サロンや地区交流会等の費用を助成しています。3,000円×地区会員数が、地区の活動支援費として交付されます。

運転免許取得助成金

群馬県共同募金会の配分金をいただき、会員が養育中の里子の自動車運転免許取得に対し一人あたり15万円助成があります。



会の活動記録や報告は右記のホームページからもご覧になれます。
<https://www.g-shakyo.or.jp/department/shisetsu/76.html>

群馬県里親の会
1. 群馬県里親の会 目的・概要
(1) 里親の役割とは・・・
子どもを育てる問題は年々深刻化し、社会的養護を必要とする子どもが増加しています。社会的養護下の子どもを家庭に迎え、愛情と誠意をもって養育にあたる、それが里親です。次代を担う子どもたちが心身ともに心豊かにたくましく成長し、自立していく支援をすること、それが里親の役割です。
(2) 群馬県里親の会とは・・・
群馬県里親の会は昭和27年3月31日に県内各地区で誕生していた里親会が集まり、里親活動を推進させるために創立されました。それ以来、子どもたちの幸せを第一に考え、養育に必要な知識と技術向上を目指して研鑽に努めてきました。また、さまざまな行事を通して、里親同士の交流を深めるとともに必要な情報の提供を行ってきました。今日、子どもを育てる問題は年々深刻化し、特に虐待児童の急増により、乳児院や児童養護施設は現在ほぼ満杯の状態の中、里親の資質向上を目的としている本会の役割はますます高まっております。
お会則
2. 活動内容
主な活動
●ピアサポート事業・おしゃべりの会事業
里親の相互交流、相互支援を目的としています

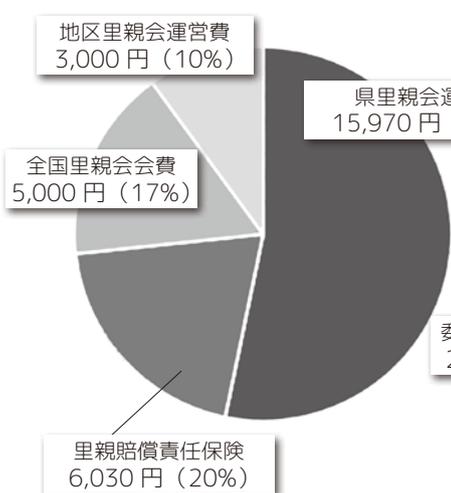
群馬県里親の会 会費の行方

こんな割合で使われています

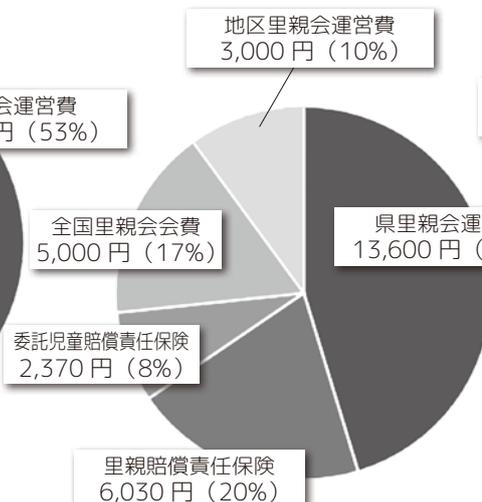
群馬県里親の会に入会していただくと年会費として、1世帯ごとに未委託里親さんから10,000円、委託里親さんから30,000円、ファミリーホームさんから30,000円を納入いただいております。下記の円グラフのような割合で使われています。

尚、上記の会費収入以外に、賛助会員(1口2,000円)、群馬県からの補助金や群馬県事業委託費をはじめ、共同募金、諸団体からの寄付金などの収入によって運営されています。収支報告は当会のホームページにて公開されています。

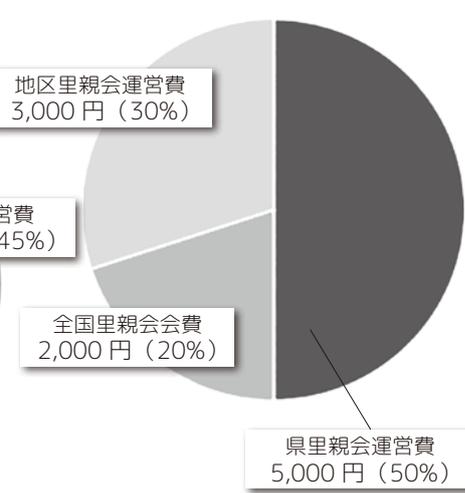
12才未満委託里親(3万円)内訳



12才以上委託里親(3万円)内訳



未委託里親(1万円)内訳





「ふれあいプロジェクト」とは、養育里親家庭と児童養護施設との交流を持つことで、同じ社会的養育の活動を励ましあい、協力し合える地域の環境を育むことをめざして取り組まれています。



里親会の皆様に感謝して

フランシスコの町 施設長
武井 望

去る8月12日、当施設の児童・職員あわせて19名が「里親ふれあいプロジェクト」に参加させていただきました。会場の北毛青少年自然の家は緑豊かな場所であり、子どもたちは久しぶりに大自然の中で思う存分活動することができました。

この2年間、新型コロナウイルスの影響もあり子どもたちは様々な面で自粛を余儀なくさ

れてきました。子どもたちにとっては待ちに待った今回の行事であり、レクリエーションでは仲間と協力しながら楽しそうにゲームを進めていました。また、施設以外の子どもとも交流し、一緒にお弁当を食べたり遊具で元気いっぱいに遊んだりする姿は本当に生き生きとしていました。子どもたちの笑顔には大変感慨深いものがありました。

このような機会を与えてくださった上原会長はじめ里親会の皆様に深く感謝すると共に、社会的養育の担い手とである施設と里親さんとの交流がますます深まることを願っております。

参加した子どもたちの声をお届けします。またお会いしましょうね。

お花探し、虫探しができて楽しかった。もらったアクリル画がおいしかった。池の鯉を見られて嬉しかった。お弁当がすごくおいしかった。ゼリーが入っていてすごく嬉しかった。広場で鬼ごっこや戦いごっこができて楽しかった。木を上手にこすることができた。帰りにアンパンマンの曲が流れて嬉しかった。また行きたい。

小1 H.R.



森の中の散歩。気持ちよかったな。

最初にみなさんに会った時、僕はすごくドキドキしました。でも、仲良くなれて僕はすごくハッピーでした。僕は中国の人とめっちゃ仲良く話しました。嬉しかったです。木工クラフトをしたときはすごく楽しかったです。最後に順位を決めたとき、ぼくたちのグループは3位でした。嬉しかったです。

小4 M.H.



木工クラフト体験。何をつくらうかな。

私は大きなバスに乗って交流会に行きました。最初にクイズをしました。意外と難しかったです。その後、お弁当を食べてお腹いっぱいになりました。そして、工作をしました。楽しかったです。最後にクイズの発表をしました。私の班は5位でした。1位になれなかったけれど、優しい人がいて楽しかったです。また行きたいです。

小4 S.R.



里親会に参加して楽しかった。木のおもちやを作る時木が小さいからこすのが難しかったけれど、いいものができた。木をこすだけでツルツルピカピカになるなんて思っていなかったからすごいと思った。たくさん遊べてすごく楽しかった。またこうやってみんなで遊べると嬉しいです。

小3 Y.A.



昨日はたくさん遊べてとても楽しかったです。長いすべり台がいっぱい面白かったです。お弁当もとてもおいしかったです。たくさん遊んでくれてありがとうございました。また遊んでください。

小1 T.H.



2022
4/23

令和4年度 里親ネットワーク強化事業
群馬県里親の会 **第1回 研修会**

<講師> 友田 明美 Akemi Tomoda
福井大学教授

子どもと地域と ともに育とう！

～子どもへの不適切な関わり方を
脳科学から学ぶ～

『マルトリートメント（不適切な養育）』とは、親が子どもに危害を加える意図がなくても、言葉による脅しやネグレクト、そして子どもの面前でのDVなども含めた、大人から子どもに対する避けたい関わり、のことをいいます。マルトリートメントから発達障害や愛着障害になるケースもあり、それは養育環境によって脳へダメージが生じるようです。

たとえば、子どもひとりで留守番をさせる、お風呂上がりのお父さんが裸でウロウロする、「早くしなさい!」とせき立てる言葉の暴力もこのマルトリートメントになるのです。

育てづらさの原因は子どもの性質や、里親さんの育て方だけではなく、過去のマルトリートメントで傷ついた脳にあるのかも知れませんね。人の脳と心の仕組みの深さに驚嘆しました。

2022
9/13

令和4年度 里親ネットワーク強化事業
群馬県里親の会 **第2回 研修会**

<講師> 滝澤 俊幸 Toshiyuki Takizawa
NPO 法人カシオペア代表理事（玉村町）／社会福祉士

聞きたい！ 知りたい！ 地域の子育て支援！

～市町村等の子育て支援、
障がい児の支援を知ろう～

群馬県玉村町で活動するNPO法人カシオペアは、放課後等デイサービス、児童発達支援、グループホーム、サービスステーション等の事業を展開しています。

うちの子は他のお子さんとは違うのかな？と、子育てにしんどさを感じる実親さんや里親さんは意外と多いでしょう。それが幼児の発



身近な子育て支援（障がい児も含）の窓口は市町村。どんな支援があるのか。支援を受けるためにはどうしたら良いのかを学びました。

達障がい起因する場合もあります。親御さんの不安に寄り添いながら早期支援はもちろんのこと、その後の成長段階に応じて支援する包括的な事業展開に励まされました。ひとりで悩まないで早期

相談・早期支援は、子どものためだけでなく親のためでもあるのですね。

2023
1/16

令和4年度 里親ネットワーク強化事業
群馬県里親の会 **第3回 研修会**

<講師> 保角 美代 Miyo Hozumi
一般社団法人 埼玉県里親会 理事長

教えて！ 里親しっかりサポート事業

～みんなの希望を形にした埼玉県里親会の
取り組みについて～

<未委託里親のスキルアップ支援> 研修を終え里親登録したものの、具体的に里子を迎えるまでの不安や心配を解消するため、先輩里親宅を訪問し実体験を学びます。

<面会交流中の支援> 児童相談所より紹介があり、お子さまとの面会交流が始まった際に経験豊かな先輩里親が、交流中の里親の疑問や



不安に応えます。

<委託直後支援> 面会交流を経て里子の委託が決まり、いよいよ24時間待たなしの生活が始まります。経験豊かな先輩里親が、定期的に訪問等をして疑問や不安に応えます。

群馬でもお手本にしたいチームワークづくりだと思いました。

若者の活字離れと言われて久しい。以前、東京に住んでいた頃、山手線の網棚には週刊誌や新聞が無造作に放置され、体よく回し読みされているようだった。

一方、令和の現代、電車通勤中にスマホを利用するか聞いたところ、75.8%が「よく利用する」、18.0%が「たまに利用する」と、実に9割以上の人が利用していると回答があったようだ。

そんな現状の中ではあるが、虎さんも会の活動をわかりやすく身近に感じてもらえるよう心掛け広報誌を編集してきました。タイガースも岡田監督に代わり、森下・大山・輝の和製大砲の大活躍を楽しみに、次代の広報誌に期待を繫げたいと思います。

(虎さん)



拡大版

「広報委員をしてみませんか？」の問いかけをいただいたのですが、断るのを前提で「どのぐらいの頻度で集まります？」って即質問……。返ってきた答えは「年に4回です。後は、メールのやりとりでやってますよ……と。えっ!なんかわからないけど、

私にもできそうと即決!!。

どんな紙面にするのか、これといった良い案もひねり出せない私でした。でも、ただわからないことを質問をすると、「あ、その疑問に答えるテーマで良いじゃないですか」と、意外な展開になったりもしました。

皆さんに支えられて2年間の任務を終了。興味があるあなた。ぜひやってみませんか。大丈夫ですよ。私でも勤まりましたから。(豊田)



皆様のご支援に感謝いたします。

2022(令和4)年度も、多くの心あたたまるご支援をいただきました。ありがとうございました。 ※以下、敬称を略してご紹介します。

支援いただいた団体及び機関名	助成金の内容
群馬県社会福祉協議会社会福祉振興基金	ふれあいプロジェクト(会員里親と招待児童養護施設との相互理解と連携促進交流事業)
群馬県共同募金会	里子の自動車運転免許取得助成金(会員が養育する里子の運転免許取得にかかる費用一部助成) 群馬県内の里親ネットワーク強化事業(県内里親を対象とした地域での子育て支援の現状を学ぶ研修会、先進的な活動をしている他県の講師を招き、地域の子育てのネットワークを学ぶ研修会実施)
公益財団法人上毛新聞厚生福祉事業団「愛の募金」	本会及び里親についての周知、広報活動一部助成
全国里親会	都道府県市里親会活動推進費(本会の活動推進費一部助成)
太陽誘電(株)等年末義捐金	親子でクラフト教室、里親制度啓発事業、ネット環境整備費用
日本子ども支援協会	オンライン化整備(Zoom年間契約料の一部助成)
株式会社ジェイ・ストーム	「ゆたかな育ちと自立」応援助成事業(七五三のお祝い費用の一部助成) 全国里親会経由
(株)セイバン	会員が養育する新1年生にランドセル寄贈 全国里親会経由
株式会社ドミノ・ピザジャパン	子どもたちにクリスマスプレゼントとしてピザを配布 全国里親会経由
公益財団法人 山田昇記念財団	会員里親家庭から巣立つ(自立する)里子3名にリユース家電の寄贈



個人寄付者5名/賛助会員11名/タイガーマスク運動/株式会社東部オート

[編集後記] 里親の皆さまお疲れさまです。尊い働きです。1年でもひとりでも多くのこどもたちを守ってあげたいなと願います。また、地道に気長に支えてくださる事務スタッフや諸団体の皆さまに感謝します。次なる1年もよろしく願います。(藤原)

群馬県里親の会 事務局

〒371-8525 群馬県前橋市新前橋町13-12 (群馬県社会福祉協議会内)

TEL: 027-255-6034 FAX: 027-255-6173

E-mail: satooya@g-shakyo.or.jp (荒川) satooya2@g-shakyo.or.jp (岩上) (題字: 上原正男)